

- 1 次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。
- a. 岩手商店に委託販売のため、原価 ¥620,000 の商品を発送した。なお、発送に要した諸費用 ¥5,000 は現金で支払った。
 - b. 前期に商品代金として受け取っていた東南商店振り出し、当店あての約束手形 ¥250,000 が不渡りとなり、償還請求の諸費用 ¥4,000 とあわせて東南商店に支払請求していたが、本日、全額回収不能となったので、貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が ¥290,000 ある。
 - c. 北西商会の本店は、支店から当期純損失 ¥320,000 を計上したとの報告を受けた。(本店の仕訳)
 - d. 青森商事株式会社は、事業拡張のため、あらたに株式300株を1株につき ¥150,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、1株の払込金額のうち ¥50,000 は資本金に計上しないこととした。なお、この株式の発行に要した諸費用 ¥400,000 は小切手を振り出して支払った。
 - e. 北海道物産株式会社(発行済株式数3,500株)は、株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。
利益準備金 ¥280,000 配当金 1株につき ¥800 新築積立金 ¥600,000
 - f. 茨城商店に注文していた商品 ¥700,000 について、本日、同店が取り組んだ荷為替 ¥560,000 の引き受けをして、船荷証券を受け取った。なお、残額は掛けとした。
 - g. 群馬商事株式会社(決算年/回)は、決算にあたり、当期の法人税・住民税および事業税の合計額 ¥1,360,000 を計上した。ただし、中間申告のさい ¥730,000 を納付しており、仮払法人税等勘定で処理している。

- 2 次の取引を特殊仕訳帳としての売上帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳に転記しなさい。
- ただし、i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
iii すでに記入してある取引も転記すること。
iv 総勘定元帳・売掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
v ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳・当座預金出納帳・仕入帳を用いている。

取引

1/月23日 山形商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。
B品 400個 @¥570 ¥228,000
25日 山形商店に売り渡した上記商品について、次のとおり値引きをおこなった。
B品 10個 @¥200 ¥2,000
29日 福島商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥200,000 は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。
C品 900個 @¥350 ¥315,000

- 3 次の各問いに答えなさい。
- (1) 千葉商店(決算年/回 12月31日)の決算日における次の受取利息勘定の(①)と(②)に入る金額を求めなさい。ただし、受取利息勘定の記録は、前期の10月1日に貸し付けた ¥2,000,000 に対するものである。なお、この貸付金の利息は、利率年3%で、3月末と9月末に経過した6か月分を受け取る契約となっている。

受 取 利 息			
1/1 未 収 利 息 ()	3/31 現 金 (①)		
12/31 損 益 60,000	9/30 現 金 30,000		
	12/31 未 収 利 息 (②)		
	()		

- (2) 栃木商店(個人企業)の本店および支店の貸借対照表と未達事項によって、次の金額を計算しなさい。
- a. 本店貸借対照表の支店(アの金額) b. 本支店合併後の買掛金 c. 本支店合併後の当期純利益

本店 貸 借 対 照 表			
平成〇年12月31日			
資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金	640,000	支払手形	650,000
当座預金	1,120,000	買掛金	560,000
売掛金	()	資本金	3,800,000
商品	900,000	当期純利益	460,000
備品	830,000		
支店	(ア)		
	5,470,000		5,470,000

支店 貸 借 対 照 表			
平成〇年12月31日			
資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金	94,000	支払手形	170,000
当座預金	136,000	買掛金	300,000
売掛金	312,000	本店	280,000
商品	120,000	当期純利益	142,000
備品	230,000		
	892,000		892,000

未 達 事 項

- ① 本店から支店に発送した商品 ¥70,000 (原価)
- ② 支店で支払った本店の買掛金 ¥90,000
- ③ 支店で立て替え払いした本店の従業員の旅費 ¥30,000
- ④ 本店で受け取った支店受取分の手数料 ¥20,000

- 4 宮城商店では伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法で起票している。よって、
- (1) /月/日の略式の伝票から、仕訳集計表(日計表)を作成しなさい。ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。
- (2) /月中の純仕入高を答えなさい。ただし、/月/日から/月/日までの総仕入高は¥6,890,000であり、仕入戻し高・仕入値引高の合計は¥175,000であった。

取引
/月/日 仙台商店から商品 ¥320,000 を仕入れ、代金のうち ¥240,000 は小切手 #15 を振り出して支払い、残額は掛けとした。

入金伝票	出金伝票	売上伝票
売掛金 209,000	買掛金 129,000	気仙沼商店 276,000
受取手数料 18,000	当座預金 350,000	大崎商店(戻り) 12,000
当座預金 385,000	消耗品費 6,000	石巻商店 487,000
売掛金 264,000	買掛金 94,000	栗原商店 342,000
() ()	() ()	() ()

振替伝票(借方)	振替伝票(貸方)	仕入伝票
当座預金 37,000	受取手数料 37,000	岩沼商店 194,000
消耗品費 15,000	当座預金 15,000	名取商店 201,000
買掛金 116,000	支払手形 116,000	角田商店 78,000
当座預金 298,000	受取手形 298,000	多賀城商店 152,000
受取手形 412,000	売掛金 412,000	白石商店(値引) 19,000
() ()	() ()	() ()

- 5 埼玉商店(個人企業 決算年/回 /2月/日)の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、
- (1) 付記事項の仕訳を示しなさい。
- (2) 決算整理仕訳を示しなさい。ただし、繰り延べおよび見越しの勘定を用いること。
- (3) 損益計算書(2区分)および貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高			
現金 ¥ 787,000	当座預金 ¥ 1,600,000	受取手形 ¥ 1,140,000	
売掛金 2,600,000	貸倒引当金 7,000	有価証券 1,350,000	
繰越商品 1,720,000	備品 1,830,000	備品減価償却累計額 610,000	
支払手形 1,340,000	買掛金 1,235,000	前受金 300,000	
借入金 400,000	従業員預り金 51,000	資本金 6,200,000	
売上 16,720,000	受取手数料 92,000	仕入 12,300,000	
給料 2,496,000	支払家賃 715,000	保険料 267,000	
消耗品費 110,000	雑費 34,000	支払利息 6,000	

付記事項
① 川口商店に対する買掛金の支払いとして、かねて深谷商店から受け取っていた同店振り出しの約束手形 ¥240,000 を裏書譲渡していたが、未処理であった。

- 決算整理事項
- a. 期末商品棚卸高 ¥1,680,000
- b. 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ3%とする。ただし、差額を計上する方法によること。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ¥1,830,000 残存価額は零(0) 耐用年数は6年とし、定額法による。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
大宮産業株式会社 30株 時価 @¥47,000
- e. 消耗品未使用高 ¥ 21,000
- f. 保険料前払高 保険料のうち ¥216,000 は、本年4月/日からの1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- g. 家賃未払高 ¥ 65,000

1

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

2

[illegible]

総勘定元帳	
当座預金	2
1/1 前期繰越 1,349,000	
受取手形	3
1/1 前期繰越 970,000	
売掛金	4
1/1 前期繰越 627,000	
売上	19
売掛金元帳	
山形商店	1
1/1 前月繰越 154,000	
福島商店	2
1/1 前月繰越 237,000	

3

(1)	①	$\mathcal{F}$	②	$\mathcal{F}$
-----	---	---------------	---	---------------

(2)

a	本店貸借対照表の 支店（アの金額） ㊦	b	本支店合併後の 買 掛 金 ㊦	c	本支店合併後の 当 期 純 利 益 ㊦
---	---------------------------	---	-----------------------	---	---------------------------

試 験 場 校	受 験 番 号

2級の1得点

4

(1)

仕 訳 集 計 表

平成〇年/月〆/日

借	方	平	勘 定 科 目	平	貸	方
			現 金			
			当 座 預 金			
			受 取 手 形			
			売 掛 金			
			支 払 手 形			
			買 掛 金			
			売 上			
			受 取 手 数 料			
			仕 入			
			消 耗 品 費			

(2)

≠

5

(1)

	借	方	貸	方
①				

(2)

	借	方	貸	方
a				
b				
c				

	借	方	貸	方
d				
e				
f				
g				

(3)

損 益 計 算 書

埼玉商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月〆/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高		売 上 高	
仕 入 高		期末商品棚卸高	
売上総利益			
給 料		()	
()		受 取 手 数 料	
()		()	
支 払 家 賃			
保 険 料			
消 耗 品 費			
雑 費			
支 払 利 息			
()			

貸 借 対 照 表

平成〇年/2月〆/日

埼玉商店

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当座預金		買 掛 金	
受取手形 ()		前 受 金	
貸倒引当金 ()		借 入 金	
売 掛 金 ()		従業員預り金	
貸倒引当金 ()		()	
有価証券		資 本 金	
商 品		()	
()			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額 ()			

試 験 場 校	受 験 番 号

2級の2得点

総 得 点

1

	借 方	貸 方
a	積 送 品 625,000	仕 入 金 620,000 現 金 5,000
b	貸 倒 引 当 金 254,000	不 渡 手 形 254,000
c	損 益 320,000	支 店 320,000
d	当 座 預 金 45,000,000 株 式 交 付 費 400,000	資 本 金 30,000,000 資 本 準 備 金 15,000,000 当 座 預 金 400,000
e	繰 越 利 益 剰 余 金 3,680,000	利 益 準 備 金 280,000 未 払 配 当 金 2,800,000 新 築 積 立 金 600,000
f	未 着 商 品 (または未 着 品) 700,000	支 払 手 形 560,000 買 掛 金 140,000
g	法 人 税 等 1,360,000	仮 払 法 人 税 等 730,000 未 払 法 人 税 等 630,000

2

売 上 帳

2

平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 子	売 掛 金	諸 口
		前ページから		600,000	362,000
/ 22	当座預金	秋田商店 小切手	✓		245,000
	受取手形	約 手	3		80,000
		A品 500個 @¥650			
23	売 掛 金	山形商店 掛 け	売1	228,000	
		B品 400個 @¥570			
25	売 掛 金	山形商店 掛け値引き	売1	2,000	
		B品 10個 @¥200			
29	当座預金	福島商店 小切手	✓		200,000
	売 掛 金	掛 け	売2	115,000	
		C品 900個 @¥350			
				943,000	887,000
31			4		943,000
〃		総 売 上 高	19		1,830,000
〃		売上値引高	19/4		2,000
		純 売 上 高			1,828,000

総 勘 定 元 帳

当 座 預 金

2

1/1 前期繰越	1,349,000	

受 取 手 形

3

1/1 前期繰越	970,000	
22	80,000	

売 掛 金

4

1/1 前期繰越	627,000	1/31 2,000
31	943,000	

売 上

19

1/31	2,000	1/31 1,830,000
------	-------	----------------

売 掛 金 元 帳

山 形 商 店

1

1/1 前月繰越	154,000	1/25 2,000
23	228,000	

福 島 商 店

2

1/1 前月繰越	237,000	
29	115,000	

3

(1)

①	¥ 30,000	②	¥ 15,000
---	----------	---	----------

(2)

a	本店貸借対照表の 支店 (アの金額) ¥ 450,000	b	本支店合併後の 買 掛 金 ¥ 770,000	c	本支店合併後の 当 期 純 利 益 ¥ 592,000
---	---------------------------------	---	----------------------------	---	--------------------------------

4 (1)

仕 訳 集 計 表
平成〇年/月3/日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
876,000		現 金		579,000
685,000		当 座 預 金		640,000
412,000		受 取 手 形		298,000
1,105,000		売 掛 金		897,000
		支 払 手 形		116,000
598,000		買 掛 金		945,000
12,000		売 上		1,105,000
		受 取 手 数 料		55,000
945,000		仕 入		19,000
21,000		消 耗 品 費		
4,654,000				4,654,000

(2) 7,641,000

5

(1)

	借 方	貸 方
①	買 掛 金 240,000	受 取 手 形 240,000

(2)

	借 方	貸 方
a	仕 入 1,720,000 繰 越 商 品 1,680,000	繰 越 商 品 1,720,000 仕 入 1,680,000
b	貸 倒 償 却 98,000	貸 倒 引 当 金 98,000
c	減 価 償 却 費 305,000	備 品 減 価 償 却 累 計 額 305,000

	借 方	貸 方
d	有 価 証 券 60,000	有 価 証 券 評 価 益 60,000
e	消 耗 品 21,000	消 耗 品 費 21,000
f	前 払 保 険 料 54,000	保 険 料 54,000
g	支 払 家 賃 65,000	未 払 家 賃 65,000

(3) 損 益 計 算 書

埼玉商店 平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高	1,720,000	売 上 高	16,720,000
仕 入 高	12,300,000	期末商品棚卸高	1,680,000
売上総利益	4,380,000		
	18,400,000		18,400,000
給 料	2,496,000	(売上総利益)	4,380,000
(貸倒償却)	98,000	受取手数料	92,000
(減価償却費)	305,000	(有価証券評価益)	60,000
支払家賃	780,000		
保険料	213,000		
消耗品費	89,000		
雑 費	34,000		
支払利息	6,000		
(当期純利益)	511,000		
	4,532,000		4,532,000

貸 借 対 照 表

埼玉商店 平成〇年/2月3/日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金	787,000	支払手形	1,340,000
当座預金	1,600,000	買 掛 金	995,000
受取手形 (900,000)		前 受 金	300,000
貸倒引当金 (27,000)	873,000	借 入 金	400,000
売 掛 金 (2,600,000)		従業員預り金	51,000
貸倒引当金 (78,000)	2,522,000	(未払家賃)	65,000
有価証券	1,410,000	資 本 金	6,200,000
商 品	1,680,000	(当期純利益)	511,000
(消 耗 品)	21,000		
(前払保険料)	54,000		
備 品 (1,830,000)			
減価償却累計額 (915,000)	915,000		
	9,862,000		9,862,000

(貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。)